

2005年9月5日
三菱電機株式会社

**電子商取引などにおけるデータ交換システムの導入・運用作業とコストを低減
三菱データ交換プラットフォーム「BizOrder」発売のお知らせ**

三菱電機株式会社(執行役社長:野間口 有)は、電子商取引などで扱われる文書などの情報を相手先と自社のシステムに合わせて自動的に変換するデータ交換プラットフォーム「BizOrder(ビズオーダー)」を9月6日から発売します。

この製品の製造、販売、保守は三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社が担当し、流通・卸売業者や製造業者などに向けて販売します。

発売の概要

製品名	主な内容	標準価格(税込)	発売日	販売目標
三菱データ交換プラットフォーム「BizOrder」	【業務機能】受注、納品、請求などの取引データの送受信など 【インターフェース】電子メール、ファイル転送、ファイル入出力など 【管理制御】フォーマット自動変換、フロー制御、スケジューリング機能など	初期導入費用 1,575,000円から 年額使用料 472,500円から	9月6日	年間 100セット

一部機能は12月からの対応になります。

発売の狙い

電子商取引で使用される発注書、納品書、請求書などの文書データは、企業ごとにフォーマットが異なり、使用するメディアもさまざまです。受注企業は、発注企業からの取引文書を自社の販売管理システムなどに合わせて処理するのが通常で、さまざまなデータフォーマットや入出力インターフェースに対応するデータ交換システムの導入と運用には多大な時間とコストがかかっていました。

今回発売する「BizOrder」は、データの変換方法をプログラミングすることなく簡単に定義でき、入出力時の相手先判別やデータ変換を自動的に行うソフトウェアです。データ交換システムの導入と運用に必要な作業時間とコストが低減できます。また、普及し始めた次世代の電子データ交換システム「XML/EDI¹⁾」にも対応可能で、将来の拡張性に富んでいます。

1 XML(eXtensible Markup Language) インターネット上の高機能記述言語 / EDI(Electronic Data Interchange) 電子商取引に関する情報の書式を統一して、企業間で電子的に交換する仕組み

新製品の特長**1. 電子商取引などで扱われる文書のデータ交換をノンプログラミングで実現**

設定ツールで取引先とのデータ交換フォーマットを対話的に定義すると、相手を自動判別して受注書、納品書、請求書などの電子データを自社あるいは相手先のフォーマットにデータ交換します。取引先が増加した場合も定義を追加するだけでよく、新たなデータ交換システムを構築する必要がないので、時間と費用を抑制することができます。

2. SOAPなどさまざまな入出力インターフェースに対応し、データの自動チェックを実現

XML形式のSOAP²⁾、SMTP / POP3形式の電子メール、FTP形式のファイル転送などさまざまな入出力インターフェースに対応しています。データの数字や文字の許容範囲などを自動的にチェックして、異常がある場合にはシステム管理者に電子メールで通知するため、データチェックの省力化も可能です。

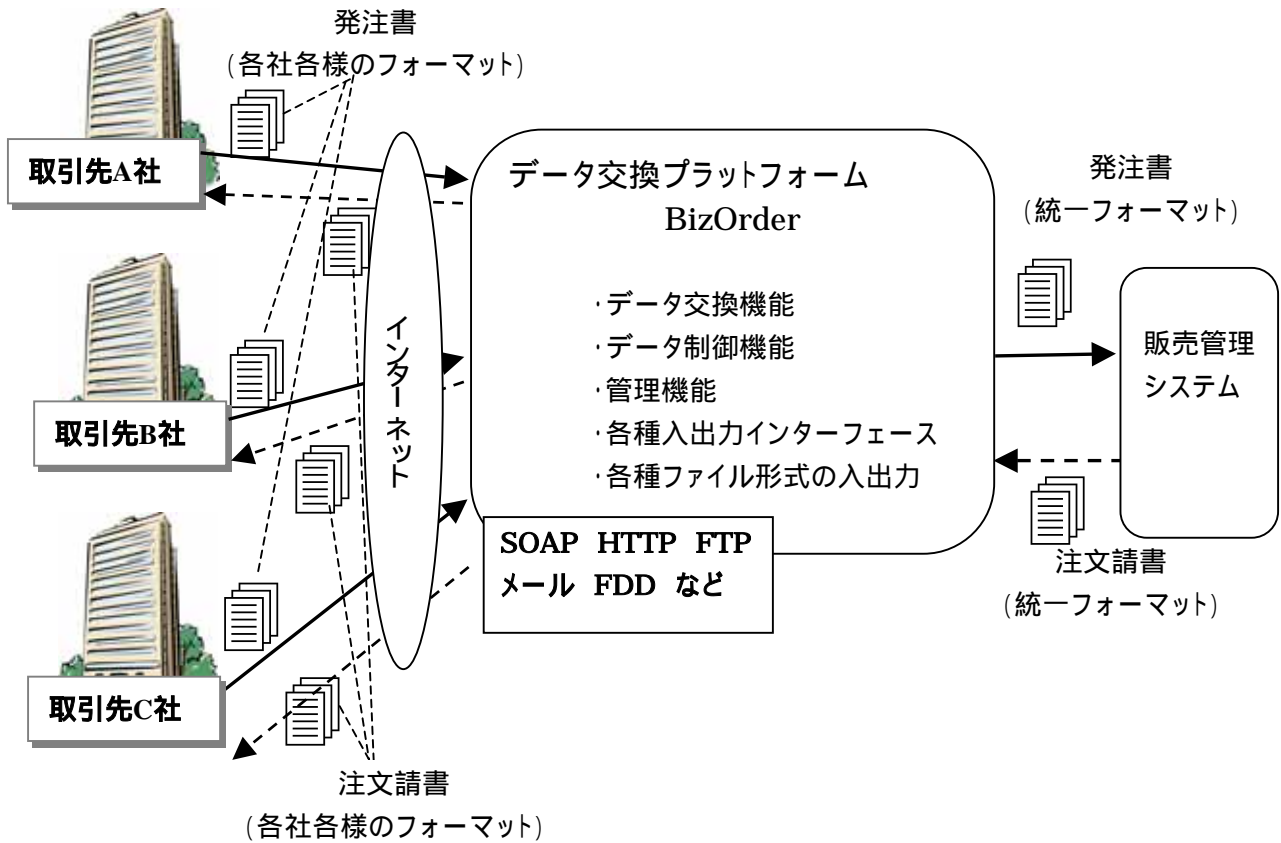
2 SOAP(Simple Object Access Protocol) XMLで他のコンピューターにあるデータなどを呼び出すための通信規約

3. 「フロー制御テンプレート」により導入と運用が容易に

データやメッセージの処理手順をあらかじめ組み込んだ「フロー制御テンプレート(雛形)」で、導入時の設定作業が簡単にできます。稼働後は自動で処理するため、人手をかけずに運用することができます。

報道関係からの お問い合わせ先	〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 電話03-3218-2172 FAX 03-3218-2431 三菱電機株式会社 広報部
--------------------	---

システム構成例



主な仕様

データ交換機能	見積書依頼書、発注書、納品書、請求書、見積書、発注請書などの送受信
	ノンプログラミング 相手先を自動判別しフォーマット変換 (発信処理自動フォーマット変換機能は2005年12月対応予定)
データ制御	フロー制御(テンプレートを提供)
	メッセージ・キュー
	データエラーチェック
管理機能	スケジューリング機能
	GUI設定ツール
	ロギング機能
入出力インターフェース	電子メール(SMTP/POP3)
	ファイル転送(FTP)
	HTTP(2005年12月対応予定)
	SOAP(2005年12月対応予定)
	データベース(2005年12月対応予定)
	FDDやHDDからのファイル入出力
	DP-UXファイル ⁵
DP-UX P インタフェース ⁵ (2005年12月対応予定)	
ファイル形式	固定長テキストファイル
	CSVファイル
	Excelファイル(2005年12月対応予定)
	XMLファイル(2005年12月対応予定)

5 三菱電機株式会社製のソリューションサーバ「Entrance」で用いられるファイル形式、開発言語。

動作環境

1. データ交換プラットフォーム BizOrder 稼働アプリケーションサーバー

ソフト ウェア	OS	Microsoft®Windows Server™ 2003
	Web サーバー	Apache 2.0 以降
	Web アプリケーションサーバー	Tomcat 4.1 以降 (Tomcat5 は除く)
	Java 環境	Java2 Standard Edition (SDK) 1.4.2
ハード ウェア	CPU	インテル® Pentium® 4 プロセッサ 2GHz 以上推奨
	メモリー	1GB 以上推奨
	ハードディスク	空き容量 2GB 以上推奨

2. 設定ツール操作用 PC (アプリケーションサーバーで兼用も可)

ソフト ウェア	OS	Microsoft® Windows® XP Professional (Service Pack2)
	ブラウザ	Internet Explorer 6.0 以降
ハード ウェア	CPU	インテル® Pentium® プロセッサ 400MHz 以上推奨
	メモリー	128MB 以上推奨

商標関連

- Microsoft、Windows、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Java、Javaに関連するすべての商標およびロゴマークは、米国 Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- インテル、Pentiumはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- その他、引用された会社名、および製品名は各社の商標または登録商標です。

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社
計画部 販売推進課
〒108-0023 東京都港区芝浦4-15-33 芝浦清水ビル
電話(03)6414-8052

製品紹介ホームページ

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/>
<http://www2.mdit.co.jp/service/ds/>

参考

三菱電機インフォメーションテクノロジー株式会社
(英文表示:Mitsubishi Electric Information Technology Corporation)
所在地 : 東京都港区
代表者 : 取締役社長 野村 齊(のむら ひとし)
発足年月 : 2001年4月
資本金 : 12億5千万円(三菱電機株式会社98.1%)
事業概要 : システムベンダーへのプラットフォーム開発、販売、保守サービス
ネットワークシステム技術および構築サービスの提供
ホームページ: <http://www.mdit.co.jp/>